

調査地区紹介 「河北潟周辺地区」の概要



地区の概要

本地区は、石川県の中央部に位置する金沢市、かほく市、河北郡津幡町及び同郡内灘町にまたがる二級河川大野川水系河北潟の沿岸に位置する農業地帯です。

昭和38年から着手した「国営河北潟干拓土地改良事業」において、河北潟2,248haのうち1,356haの干陸化を図りました。

また、沿岸耕地3,275haの排水改良及び潟面積縮小に伴う洪水調整能力の減退対策として、防潮水門・放水路・周辺排水機場の造成や河川改修などを実施しました。



河北潟周辺及び干拓地の航空写真



地盤沈下で生じた排水機場建屋入口の段差
約15cm



洪水被害を伝える記事 (H25. 8. 24北国新聞)



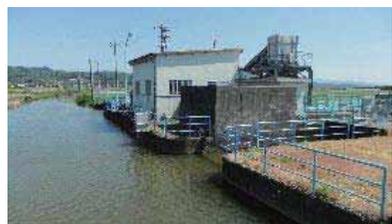
かほく市内日角地内 普段の状況



かほく市内日角地内の排水路から溢水 (H25. 8. 23)



防潮水門



周辺排水機場



津幡町舟橋地内 農地の冠水 (H25. 8. 23)

施設の状況や湛水被害

本地区の農業水利施設は設置後30年以上が経過し、施設の老朽化に加えて、周辺地盤の沈下が顕著に確認されています。

近年では都市化の進展により宅地等が増加し、排水の流出形態に変化をもたらしています。また、ゲリラ豪雨に代表される短期集中型の降雨などの要因により、排水能力が低下し湛水被害等が発生しています。

調査の内容及び予定

湛水被害の状況や実態を踏まえ、本地区においては平成27～29年度の3カ年で地区調査を予定しており、本年度は干拓地及び沿岸地域の測量、排水メカニズムの検討を始め、施設機能診断、受益面積調査、環境調査、構想設計等の基礎調査を実施しています。

今後、関係機関及び地元のみなさまに、現地調査や資料収集のご依頼を行うことがあるかと思いますが、ご協力よろしくお願ひします。



測量作業の状況